

MYANMAR



Monthly Magazine
2026
1
vol.151

JUMP
MADE IN TAIWAN

JAPON

高市内閣総理大臣の年頭挨拶

SPECIAL CONTENT

ヤンゴンは今どうなっているのか
ヤンゴン定点観測アーカイブ

COLUMN

ミャンマーの経済状況がわかる連載コラム
税務会計／ジャパンアウトソーシングサービス
ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医
ミャウンミヤからこんにちは！／名知仁子

ティラワ経済特区ほか
"最新版" ミャンジャポ特製MAP

TAKE FREE

高市内閣総理大臣の 年頭挨拶

令和8(2026)年の年頭に当たり、ミャンマーにお住まいの日本人、日系人の皆様に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

世界各地には、約130万人の在留邦人の方々、約500万人の日系人の方々が暮らしておられ、様々な分野において活躍され、その功績は高く評価されています。皆様には、日本とミャンマーを結びつける架け橋として、両国の国民間の友好関係の更なる発展と世界における日本の魅力の一層の発信に向け、日本政府を支えていただきますよう、心よりお願ひ申し上げます。

現在、私たちが慣れ親しんだ自由で開かれた安定的な国際秩序が大きく揺らいでいます。こうした国際情勢の下、国際社会の平和と繁栄に、日本として、より大きな役割を果たしていきたいと考えています。また、そのために、基本的価値を共有する国々との間で、連携強化に取り組んでいく考えです。

日本と日本人の底力を信じてやまない者として、日本の未来を切り拓く責任を担い、世界が直面する課題に向き合い、絶対にあきらめない決意をもって、本年も、国家国民のため、果敢に働いてまいります。

海外にいらっしゃる日本人及び日系人の皆様、それぞれの分野でご活躍下さいませ。

本年は、午(うま)年となります。馬は俊敏で力強さを持ち、特に丙午にあたる本年は、エネルギーに満ち、活動的になる年になると言われています。

本年が皆様にとって更なる躍動の一年となることを願うとともに、皆様のご多幸とご繁栄を祈念申し上げます。



内閣広報室提供

令和8(2026)年 元旦
内閣総理大臣

高市 早苗





高市内閣総理大臣の年頭挨拶 2

Special Content

ヤンゴンは今どうなっているのか

ヤンゴン定点観測アーカイブ

コラム① ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医 ミャウンミヤからこんにちは！ 5

NPO法人ミャンマー国際支援機構(MIAO) 6

ビジネスニュースダイジェスト 8

コラム② ミャンマー税務会計 なでしこ通信 9

クーデター関連ニュースまとめ 10

使える！ミャンジャボ特製MAP 12

ヤンゴン全域 12-13 シュエダゴン・パゴダ～インヤー湖(南) 14-15

ダウントン周辺 16-17 ティラワ経済特区(SEZ)ZONE A 18-19

ティラワ経済特区(SEZ)ZONE B 20

毎月1日発行
ミャンマーの"使える"ビジネス情報誌

MYANMAR
JAPON

電子ブックで利便性向上!
myanmarjapon.com/magazine



くわしくは――

ミャンマージャボン

検索

https://myanmarjapon.com

「MYANMAR JAPON」1月号 vol.151
2026年1月1日発行

MJI ホールディングス株式会社 CEO 永杉 豊
東京都中央区日本橋3-2-14 新橋ビル別館第一1F

●広告掲載や取材依頼に関するお問い合わせ

Tel: 03-5698-2165 (日本) Email: info@myanmarjapon.com

10年以上のICT業界での経験を活かし、お客様のビジネス課題を解決し、成長をサポートします。
優秀な人材を揃え、低コストで高品質なサービスをご提供しております。

デジタルBPOサービスでお客様のビジネスを発展させる。

サポートされているサービス項目:



ソフトウェア開発



IT およびクラウド サービス



CAD エンジニアリング サービス



ドキュメント チェック サービス



アート & デザイン サービス



お客様の満足が
私たちの利益です！

弊社はグローバルなビジネス顧客をサポートしており、日本語でのサポートもご提供可能です。

info@isgm2.com

ICT Star Group Myanmar Co., Ltd.

https://isgm2.com

ヤンゴン 定点観測



アーカイブ

ヤンゴンは今どうなっているのか。最新画像とともに、主要スポットの現在をお伝えする(2025年12月16日撮影)。

総選挙を間近に控え、街中の至る所に候補者の掲示板が乱立している。市内の警備は目に見えて厳しくなる一方、市民の関心は薄い。

タイムズシティ



平日の撮影だったが、普段よりも客数が多くなったようだ。プロモーションエリアには大きなクリスマスツリーが設置され、スマートフォンで撮影する若者もチラホラ。

ボヤニン通り



過ごしやすい季節となり、昼間から外出する市民が増えている。最近は停電も少なくなり、平穏な日が続いている。

ボージョー アウン サン マーケット



外国人観光客が日に日に増加している印象。その大半はロシア人か中国人で、貴金属店で買い物をする様子も見られた。

ヨーミンジー通り



市内各所に大型の掲示物が設置されているが、関心を示す市民は皆無。総選挙前ならではの一枚となった。

ミャンマープラザ



プロモーションエリアで中国のハイエンドEVが展示されていたが、スタッフの姿しか見られない。施設の来客数自体も少ない。

レーダンセンター



クリスマスを前にイベントが開催されており、ファッショナブルなアイテムを求める若者やカップルなどで賑わっていた。

ジャンクションシティ



2か所でイベントが行われていた。人気コスメのセールで人だかりが出来た一方、学校のプロモーションは閑散としていた。

ジャンクションスクエア



吹き抜けのイベントスペースは「クリスマスイベント」で賑わい、1Fの有名なバーは平日の昼にも閑わらず満席だった。

ガソリンスタンド

数か月連続で燃油価格の大きな動きは見られない。給油待ちの車列も、ここ半年は発生していない。





ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医 ミヤウンミヤから こんにちは!



第46回・横浜マルシェと講演会のご報告

ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会(MFCG)代表理事・医師の名知仁子です。いつも温かい応援をいただき、本当にありがとうございます。

大反響に驚きました

11月30日(日)に横浜平和プラザホテルで開催されたマルシェと講演会には、全国各地からも「応援したい」と駆けつけてくださった方々がたくさんいらっしゃいました。

当日はMFCGサポーターパートナー10名体制で対応しましたが、それでも追いつかないほどの大きな反響に正直驚きました。皆さまがそれぞれの場所で広報し、想いをつないでくださったおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。

主宰者の水田早苗さまは、当会メンバーからのご縁でMFCGの活動を知ってください、「横浜周辺で新たな応援の輪を広げたい」「新しいネットワークをつくりたい」とお声がけくださいました。団体としてこのようなイベントへの参加は初めてで、サポーターパートナー全員が胸をドキドキさせながら当日を迎えるました。「人とのつながりを大切にする“つながりのマルシェ”」というコンセプトは、水田さまのお人柄そのもので、心がほっこりするものでした。

嬉しい誤算に感謝

講演会では、ミャンマーをもっと身近に感じてもらうために豆知

識プリントやミャンマーに関するクイズを実施しました。5人ずつ横並びで答えを考えていただく形式にしたところ自然と会話が生まれ、参加者同士の交流にもつながり大好評でした。

正直なところ「40名も申し込みがあるだろうか…」と不安でいっぱいでしたが、ふたを開けてみると会場に入りきれないほど多くの方が来てくださいました。やむを得ずお断りした皆さまには申し訳ありませんでした。次回は必ず改善したいと思います。

11時に開始したマルシェは、最初はサポーターの方が多く心配していましたが、完全に杞憂に終わりました。講演会終了後には出席者の皆さんがそのまま立ち寄ってくださり、準備した1,000円のミャンマー産コーヒーは160セットが完売。「もっと買いたかった」という声が後を絶たず、嬉しい誤算となりました。

また、この場でMYANMAR JAPONの渡邊さんと久しぶりに再会できることも、私にとって大きな喜びでした。

こうして、皆さまに支えられな



がら、「つながりのマルシェ」と講演会を無事終えることができました。打ち上げでは他の出店者の皆さまとも交流し、笑顔あふれる思い出深い一日となりました。このような貴重な機会を与えてくださった水田さまをはじめ、支えてくださったすべての皆さまに改めて感謝申し上げます。

MFCGは早速振り返り会を行い、次回3月28日(土)開催予定の「年に一度の報告会」に向けてキックオフしました。もし「MFCGと一緒にイベントや講演会をやってみたい」と思ってくださる方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

ミャンマーを決してあきらめない
—医療と菜園で、みんなでつなぐ、つなげる世界を創る—

これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。



名知仁子(なち さとこ)

1963年生まれ。88年獨協医科大学を卒業後、日本医科大学付属病院第一内科医局に入局。2002年、国境なき医師団に入団し、同年タイ・メーソートの難民キャンプ、04年からはミャンマー・ラカイン州で医療支援に携わる。また、03年には外務省のODA団体、ジャパン・娱乐平台の要請で、イラク戦争で難民となったクルド人の医療支援に参加。08年には、サイクロンで被災したミャンマーのデルタ地域で緊急医療援助に参加する。同年、任意団体ミャンマークリニック菜園開設基金を設立し、12年6月にNPO法人ミャンマー・ファミリー・クリニックと菜園の会(現MFCG)設立し、現職。



NPO法人 ミャンマー国際支援機構(略称:MIAO)を通じて 避難民や民主派団体へのサポートをお願いします

*匿名でのご支援も歓迎します

ミャンマーの民主化まで匿名を希望される個人の方や企業様はご遠慮なくお申し付けください。当法人が責任をもって厳重に名簿を管理します。



2021年2月1日。ミャンマーで軍事クーデターが発生し、ウン・サン・スー・チー氏や民主派の国民民主連盟 (NLD) の党員数百人が拘束されました。

国民の大多数がこれに異を唱え各地でデモを起こしましたが、ミャンマー軍や警察隊はこれを弾圧し、多くの市民が殺されました。

あれから4年半が経ちミャンマー軍と民主化勢力の衝突は激しさを増しています。現在までに多くの犠牲者

が発生したほか、UNHCRによると350万人以上の人々が避難を強いられ、困窮した生活を送っています。状況が悪化の一途をたどる中、私たちは困窮する避難民や民主派団体へのサポートを行うべく、NPO法人ミャンマー国際支援機構を設立しました。

ミャンマーの人々が置かれた厳しい状況を少しでも改善するための活動に対し、みなさまのご支援とご協力をお願いいたします。

WHAT'S HAPPENING

>>> 今、ミャンマーで起きていること

<<< IN MYANMAR

軍による空爆



空爆により多数の死者・避難民が発生

民主化勢力の一部は地方の村やジャングルに潜伏しています。軍はこれに対して空爆を実行。これまでにカレン州、カチン州、カバー州、チン州や地方管区がおもな標的となり、多くの民家が跡形もなく破壊されました。

多数の避難民



国境付近に多数の避難民が発生 (写真提供: 井本勝幸氏)

空爆を始めとする軍の攻撃により、350万人以上が避難を余儀なくされています。国内避難民だけでなくタイなどの国境を超えて逃げる人も数多く、食糧や医療の不足に苦しんでいます。

民主派への弾圧



今も拘束が続くウン・ミン大統領とウン・サン・スー・チー氏

軍に捕らえられたウン・サン・スー・チー氏は汚職や選挙不正など複数の罪に問われています。裁判は非公開で進められ、19の罪状で禁固33年の有罪判決を受け収監されています。

NPO法人ミャンマー国際支援機構は、在日ミャンマー人や日本人社会活動家、衆参両議員とともに設立しました。私達は「人道支援」と「民主化支援」の2つを柱に、未来のミャンマーのために活動していきます。

人道支援

本当に必要とする人々へ食糧・医療支援



モン州における食料支援の様子
(写真提供:井本勝幸氏)



米や食用油などの支援が多い
(写真提供:井本勝幸氏)



ミャンマーには国際社会から多くの支援が寄せられていますが、軍の監視下で行われる支援が多いため、軍と対立する人々には支援が届かないという問題も指摘されます。その中で、軍の目から逃れ地方へ直接支援物資を届ける活動を続ける個人や団体が存在します。当機構も彼らと連携し、きめ細やかな支援体制の構築を目指します。また、日本に逃れてきた難民のサポートなども積極的に行う予定です。

ミャンマー民主化団体の 活動を支援

国民統一政府「NUG」の活動をサポート



ミャンマー民主化勢力訪日団と



今 のミャンマーを取り巻く問題を根本から解決するためには、軍による支配を終わらせて民主主義を取り戻すことが求められます。当機構では、クーデター発生後に設立された国民統一政府「NUG」を支持し、NUG駐日代表事務所と連携しながら民主化の後押しを進めます。また、日本政府に対して、軍評議会(SAC)をミャンマー政府として認めないように強く働きかけていく活動を進めます。

ミャンマーの困窮者を助けてください

* 少額でも毎月継続のご支援をお願いできれば幸いです。

個人・企業・団体様ご寄付の請求書・領収書の発行はご遠慮なくお申し付けください。

1口 3,000円

◆何口でもありがとうございます◆

1回サポート／毎月サポート
お選び頂けます

<https://miao.or.jp/support>

振込先

銀行名 PayPay銀行
支店名 ビジネス営業部(005)
口座番号 普通 6144640
名義 トクヒ)ミャンマーコクサイシエンキコウ

ご入金後、当サイトの「お問い合わせ」より
ご一報頂けましたら幸いです



理事
石橋通宏

(立憲民主党 参議院議員 /
ミャンマーの民主化を支援する
議員連盟事務局長)

NPO法人 ミャンマー国際支援機構

Myanmar International Assistance Organization

代表理事

永杉豊
(MYANMAR JAPON CO., LTD CEO)

理事

逢沢一郎
(自由民主党 衆議院議員 /
日本ミャンマー友好議員連盟
会長)

監事

藤繩善朗
(日本ミャンマー友好協会会长 /
前鶴ヶ島市長)



特定非営利活動法人

ミャンマー国際支援機構

Myanmar International Assistance Organization(略称MIAO:ミャオ)

150-0001 東京都渋谷区神宮前六丁目23番4号桑野ビル2F

MAIL_ info@miao.or.jp TEL_ 03-4405-0041

(ボランティアを中心に運営するため、極力メールでのお問い合わせに
ご協力ををお願いいたします)

<https://miao.or.jp/>

BUSINESS NEWS DIGEST

ビジネスニュース・
ダイジェスト



ミャンマーの加工食品、 日本と韓国向け輸出が拡大

ミャンマー産の加工食品の輸出が、日本や韓国、ASEAN市場を中心に拡大していることがわかった。

ミャンマー加工食品輸出販売者協会の発表によると、現在ミャンマーが製造・輸出している食品のうち、即席麺(小麦)はおもにASEAN諸国向けに輸出されているほか、乾燥野菜、ごま、はちみつなどは日本と韓国市場で需要が高まっているという。また、マンゴー、ドリアン、コーヒー、アボカドなどをを使った加工食品については、ペラルーシを含む新規市場の開拓を進めており、販路拡大の余地があるとしている。



©One News Myanmar

ミャンマー外国投資、 クーデター前の20分の1に低迷

民主派の国民統一政府(NUG)は12月11日、外国直接投資(FDI)が2021年2月のクーデター以降に「20分の1に激減した」と指摘した。

NUGのネー・ボウン・ラッ報道官によると、新型コロナ禍前の2019年度に48億8,000万米ドル(現在のレートでおよそ7,600億円)あったFDIが、今年度(4月~9月)は2億4,800万米ドル(同385億円)まで急落しているという。

同氏は「軍政の無能な経済運営により国際社会の信頼は失われ、企業は次々と撤退している」と批判。軍政が経済難を背景に、環境破壊への懸念が大きいミッソンドム計画を再開させようとしている点や、ペラルーシとの各種合意締結を挙げ、「これらの収益が武器調達に回り、国民弾圧をさらに強化する」と警戒感を示した。また、この事態は周辺地域にも深刻な影響を及ぼす可能性があるとして「国際社会は地球規模課題として監視すべきだ」と訴えた。

2025年10月時点で通貨チャットは安定傾向でインフレ率も鈍化したものの、物価水準は依然として高止まりしている。輸出量も直近半年で増加したが、構造的な不安定

性は解消されていない。

ミャンマー経済「一定の回復基調」 世銀発表

世界銀行は、12月8日に公表した「ミャンマー経済報告書」で、震災被害や国内紛争の継続にもかかわらず、同国経済には一定の回復基調が見られると分析した。

企業活動の改善や為替相場の持ち直しにより、2025年度の実質GDP成長率見通しをマイナス2.5%からマイナス2.0%へ上方修正。2026年度には、震災後の再建需要や脆弱層向け支援が下支えし、3%成長に転じる可能性を示した。

一方、インフレ率は短期的に20%超が続くとされ、生活必需品価格の高騰、購買力の低下、労働力不足、慢性的な停電などが経済の足かせとなっていると指摘。世界銀行タイ・ミャンマー担当ディレクターのメリンダ・グッド局長は、「回復の初期段階にはあるが、財政需要の増大、治安環境、電力網の不安定化など多くの障害に直面している」と述べた。

また、再建費用の拡大により2026年度の財政赤字はGDP比5%に達し、政府債務残高も同60%を超える可能性があるとし、中期的な財政リスクは引き続き大きいと警鐘を鳴らしている。

9か月間に6億米ドル超の レアアースを中国へ輸出

独立系シンクタンク「ISPミャンマー」は11月27日、2025年1~9月の9か月間に6億米ドル(およそ936億円)以上のミャンマー産レアアース鉱物を中国へ輸出したとの統計を明らかにした。

ISPミャンマーは、前年比で1億米ドル(およそ156億円)ほど減少したものの、中国側は安定した供給源の確保を模索しており、ミャンマー国内では採掘活動が一段と拡大していると指摘した。

採掘地域はカチン州だけでなく、東部シャン州にも広がり、UWSA(ワ州連合軍)支配地域のモンユン、モンポーク、またNDAA支配地域のモンヤンなどで、今年初め以降、少なくとも20カ所以上の新たな採掘場が確認されたという。

一方、こうした採掘拡大の影響で周辺住民の健康被害や深刻な環境破壊が進んでいるとの報告もある。シャン人権財團(SHRF)によると、山肌に穴を掘り化学薬品を流し込む採掘手法により、土壤や地下水の汚染、

魚類・野生生物の大量死、農業被害が確認され、地滑りのリスクも増大しているという。

ホテル関連事業に 5億円規模の投資認可

ヤンゴン管区地域観光業委員会は11月24日、総額約98億7,895万Ks(およそ5億円)規模の投資案件を認可した。

今回認可されたのは、新規のホテル建設2件とホテル営業ライセンス3件で、同ライセンス更新および関連サービス51件を承認。また、ゲストハウス営業ライセンス(新規1件、更新3件)と旅行業ライセンス(国内182件、海外46件)、国内旅行関連サービス事業(新規11件、更新4件)も承認された。

同委員会によると、ホテル事業では223人の雇用創出を見込んでいるという。

ティラワ経済特区で近代型倉庫と 桟橋を整備 2025年末に完成へ

ティラワ経済特区(SEZ)で建設が進む近代型倉庫が、2025年末までに完成する見通しとなった。倉庫は桟橋に近接しており、輸出企業が物流コストを大幅に削減できると期待されている。

事業を手掛けるのは農業関連企業のMyanma Agricultural & General Development Public Company Limited (MADPL)で、ティラワSEZ内の区画(No.29)で豆類や一般貨物を取り扱う多目的桟橋と近代型倉庫をBOT方式で開発している。

両施設は計13.88エーカーにわたり建設され、倉庫には緑豆、トウモロコシ、ゴマなどの各種豆類のほか、輸入品も保管される予定。倉庫と桟橋が一体的に整備されることで荷役から輸送までの効率が向上し、輸出にかかる時間やコストが削減できるという。

ヤンゴン証取の11月実績、 前月より大幅増加

ヤンゴン証券取引所(YSX)が公表した月次報告によると、上場企業8社の10月の売買代金は8億6,992万Ks(およそ4,440万円)で、10月の5億3,072万Ks(およそ2,710万円)を大きく上回った。取引高も151,197株から272,588株に増加した。

報告書によると、MAEXが168,430株(5億3,800万Ks、およそ2,747万円)で最多となり、MTSHの30,136株(1億600万Ks、およそ541万円)、FMIの10,616株(9,100万Ks、およそ465万円)などが続いた。

会計事務所からミャンマー事業のお役立ち情報を届け!

ミャンマー税務会計

なでしこ通信

[第116回 新年明けましておめでとうございます]

新年明けましておめでとうございます。早いもので、ミャンマーに来てから12回目の元旦となりました。私が来た当時のミャンマーは、1月1日というのは普通の平日で、大晦日にパラっと花火や爆竹の音が聞こえるくらいの感じでした。元旦は、町は平時と変わらない状況であることに、日本人として衝撃を受けた記憶があります。その代わり、ミャンマーの人にとってのお正月というのは、4月の水祭り(ティンジャン)休みがそれにあたります。4月に入ればもう歳末感が漂っているのです。

2026年のカレンダーを見ると、祝日が大変多いです。日本は18日の祝日がありましたが、ミャンマーは、週末で振替なしのものもありますが、なんと祝日関連の休みが30日もあります。経営サイドにとってみたら、頭が痛いですね(笑)。

弊事務所では、税務期限や日本とミャンマーの両方の祝日が入ったオリジナルの「JOSミャンマータックスカレンダー」を作成しております。もし、欲しい方がいらっしゃれば、お問合せください。

さて、2025年度は税務では、法人税の一部ドル払いがスタートするといった大きな変更点がありました。その前の年に、外貨建て給与や海外へのサービス料の外貨支払い等に対する源泉税についてドル払いがスタートしています。ミャンマーの税法はコモ



社員達が企画デザインしたカレンダーです。評判も上々。関係者の方々に差し上げています



日本とミャンマーの両方の祝日が入っています。各月のページにも記載あり

ン・ローの影響もありますが、「とりあえず施行してみる」という傾向が強く、法的安定性、予測可能性が著しく低いというのが特徴です。コロナ以前までは、海外からの専門家も入って徴税制度の整備が行われていました。少しづつ法的安定性も改善が見られていましたが、その後の政変により、特に為替関連の制度には、新たな困難が生じています。LTOの税務官など、当局の中には優秀な人も見られます。なんとか踏ん張って、正しく、るべき徴税制度の推進を進めてほしいものです。

年が明けたら、商業税や法人税の四半期申告があり、2月以降には、予納に向けて決算予測を行っていく必要があります。税務申告における外貨換算レートについては、今のところ正式に変更するといったアナウンスはありませんが、今後、税務当局の動向に注意が必要です。

2026年は、日本は午年。物事が大きく動き始める年などと言われますね。困難が続いているミャンマーも、良い方向に大きく動いていってほしいものです。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



ヤンゴンでは、元旦は乾季なので、ご来光は確定しています

経理・労務・税金のご相談

日本人税理士による総合コンサルティング



若松裕子
ヤンゴン所長・税理士



原尚美
代表税理士



土屋貴嗣
ヤンゴン副所長

・決算・入力代行・給料計算・労務相談・税務相談・M&A
・ローカルスタッフの教育・経理代行・会社設立・支店登記



おかげさまで、ミャンマーオフィス開設12年目となります。日本とミャンマー、両面からの税務会計支援が可能です。ミャンマー事業のお悩みにワンストップサービスで、とことん対応!

M&A案件、
工場会計
承ります

ジャパンアウトソーシングサービス **Japan Outsourcing Service Co., Ltd.**

Tel +95-9-252405320 (若松) +95-9-404469726 (土屋) Mail japanoutsourcingmyanmar@gmail.com

No.411-412, 4th Floor, Hledan Center, 8 Ward, Kamaryut Township, Yangon, Myanmar.

税務はおまかせ!

ミャンマー Right Hand Associates

検索

価格はこちら

クーデター関連 ニュースまとめ

今号が発行されるときには、総選挙は終わっている。果たしてどのような結末を迎えるのか——。12月25日までの主なニュースをピックアップする。

[12月25日]

総選挙当日に 「サイレントストライキ」呼びかけ

チン州の州都ハーカー市の市民防衛隊「CDFハーカー」は12月24日、軍政が実施する総選挙に抗議するため、総選挙当日の28日に“外出せず沈黙で抗議する”サイレントストライキを実施すると発表した。

CDFハーカーは声明で、軍政を「暴力的な独裁体制」と批判し、選挙への参加拒否を通じて抗議の姿勢を明確にする必要があると訴えている。これまでのところ、ストが他地域に波及するかは不透明な状況だ。

12月10日には、国際人権デーにあわせて「サイレントストライキ」都市部から農村部に至る全国各地で一斉に決行された。最大都市ヤンゴンでは、行政当局や治安部隊が商店に対し通常営業を強要し、営業しない店を巡回して事情聴取する動きも見られたが、多くの市民は外出を控える形で抗議に参加した。



©DVB Burmese News

ミャンマー当局、 選挙当日の工場操業停止を通達

12月28日に実施される総選挙を巡り、ヤンゴン管区内の工場に対し、当日の操業停止や残業の禁止を求める通達が出されたことがわかった。各郡区の労働局が、各工場に対して口頭で通達したという。

関係者によると、一部の工場では業務上の理由により休日に操業することがあるが、選挙当日の28日については例外なく閉鎖するよう求められたという。

ヤンゴンの工場労働者の多くは地方出身者で、事前投票の手続きをしていないケースが大半だという。軍政による工場労働者への配慮とみられるが、多くの労働者は投票そのものに関心がなく受け止めは冷ややかだ。

一方、一部の工場で労働者の身分証明書や個人情報を収集する動きも確認されてお

り、ミャンマー労働組合連盟(CTUM)は「本人の意思に反して選挙に利用される可能性がある」として、警戒を呼び掛けている。

[12月24日]

「ミャンマー軍政の名称変更は制裁回避狙い」人権団体が制裁強化訴え

ミャンマー軍政が国際的な責任追及や制裁を回避する狙いで統治機構の名称を変更したことについて、人権団体「ジャスティス・フォー・ミャンマー(JFM)」と調査団体「ザ・セントリー(The Sentry)」は制裁の早急な強化が必要だとする共同声明を発表した。

軍政は2025年7月31日、国際制裁の対象となっている「国家行政評議会(SAC)」を解体し、新たに「国家安全保障・平和委員会(SSPC)」を設置した。しかし、SSPCは旧SACと同様に軍高官が主導し、軍の最高司令官ミン・ウン・フライン氏の統制下に置かれており、実態に変化ないと指摘した。

JFMのヤダナ・マウン報道官は「軍政は民間人への残虐行為を続けながら制裁を逃れ、見せかけの選挙を正当化しようとしている」と批判した。

声明では、米国や欧州連合(EU)、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなどに対し、制裁制度の「抜け穴」を塞ぎ、軍政を支援する関係者を標的とした制裁を緊急に拡大・強化するよう求めた。

タイ政府、ミャンマー軍政選挙に監視員派遣へ

タイのシハサック外相は12月19日、ミャンマー軍政が実施する総選挙について、監視員を派遣する計画があると明らかにした。

外相は「現在の状況では完全な選挙にはならないが、前向きな進展への出発点となる可能性はある」と述べ、選挙を通じて和平プロセスにつながることを期待する考えを示した。その上で、タイとしてはミャンマーとの対話を維持することが重要だと指摘した。

民主派勢力が排除された形で実施される軍政主導の選挙を巡っては、正統性を付与することへの懸念から、東南アジア諸国連合(ASEAN)は選挙監視団や視察団を派遣しない方針を決めている。これに対し、タイは単独での視察員派遣を検討しているという。

タイ側は、今回の派遣は選挙を正当化する意図ではなく、ミャンマーとの関与を継

続するための措置だと強調している。

ミャンマー軍にドローン転売計画か バンコクでミャンマー人4人拘束

タイ警察は12月23日、ミャンマー軍への転売を目的としたとみられる中国製ドローン10機を所持していたミャンマー国籍の男4人をバンコク市内で拘束した。現在4人は入管当局の管理下に置かれており、警察が背後関係を調べている。

タイ英字紙「バンコク・ポスト」によると、スワンナプーム国際空港周辺でドローンが飛行しているとの情報を受け、空港から3kmほど離れた「グランドBSエアポートホテル」を捜索したところ、ドローンの運用拠点として使用されていた形跡が確認されたという。客室内からは、中国DJI製とみられるドローン10機が証拠品として押収された。

警察の調べでは、4人は身元不詳の指示役から依頼でタイに渡航し、ドローンを受け取ったと供述しているという。押収されたドローンは、ミャンマー国内で「ケビン・ゾー」と名乗る人物に引き渡され、最終的にミャンマー軍に転売される予定だったとみられている。



©Khit Thit Media

[12月23日]

ミャンマー国際航空、持ち込み手荷物の高額請求訴え相次ぐ

ミャンマー国際航空(MAI)が、機内持ち込み手荷物について厳格な料金を徴収しているとの訴えが、海外路線の乗客から相次いでいる。

乗客の証言によると、MAIはこれまで国際線において機内持ち込み手荷物を最大7kgまで無料としてきた。しかし11月以降、機内持ち込み手荷物を預け入れ手荷物と合算して計量し、超過分に対して料金を請求する運用を開始したという。

クアラルンプール発ヤンゴン行きの便に



▲クリスマス前だったためか、ボージョー アウン サン マーケットには多くの人が訪れていた

搭乗した乗客は「事前に手荷物を7kg以内に調整していたが、空港で計量され1kg当たり55リンギット(およそ2,100円)を請求された」と語った。支払わない場合は、荷物を処分するよう求められたという。同様に、シンガポール発便でも、機内持ち込み手荷物に対し1kg当たり20シンガポールドル(およそ2,400円)を請求されたとの証言がある。利用者がMAI本社に抗議したものの、明確な回答は得られていないという。

MAIは民間の航空会社だが、退役した空軍の将校をパイロットとして雇用するなど、ミャンマー軍との密接な関係もたびたび取りざたされている。

ヤンゴンで若者を狙った強盗、拉致事件相次ぐ

最大都市ヤンゴンで、若者を狙った集団による強盗、拉致事件が相次いでいる。治安の悪化に加え徴兵を巡る不安も重なり、若者の間で外出を控える動きが広がっている。

市民によると、複数人のグループが若者を襲い金品を強奪するほか、刃物などで脅し連れ去り、家族に身代金を要求するケースも報告されている。

11月には、ラインタヤー郡区で10代の若者が自宅前で連れ去られる事件があった。家族が警察に被害届を出したものの、現在まで所在は分かっておらず、捜査も進展していないという。徴兵組織に引き渡されたとの情報があるが、実態は明らかになっていないという。

法の支配が揺らぐ中、若者の間では治安悪化と徴兵を巡る不安が重なり緊張感が一段と高まっている。



©DVB Burmese News

【12月22日】

日本就労名目の巨額詐取、送り出し機関と日本語学校を捜査

タイ経由で日本に就労させるとして、1人あたり200万Ks(およそ10万円)近くをだまし取った疑いがある海外就労仲介業者や、日本語学校の一部が当局の調査を受けていたことがわかった。

関係者によると、同社や一部の日本語学校は「3~6か月以内に日本へ送る」と説明し、若者から多額の手数料を徴収。海外就労が厳しく制限される中、タチレク経由でタイに渡航させ、事前に手配した宿泊施設で待機させていたという。

業界団体「海外就労仲介業者協会(MOEEA)」

の幹部は「関係者の一部は逃亡しているが、1人は拘束されたとの情報もある。被害者の金銭やパスポート、修了証書などが押収されており、事案は複雑化している」と述べ、海外就労を希望する労働者に対し、正規免許を持つ業者を利用するよう注意を呼び掛けた。

【12月19日】

軍政の動画配信アカウント、相次ぎ削除

ジャスティス・フォー・ミャンマー(JFM)は12月18日、ミャンマー軍政がオンライン上でプロパガンダに使用していた複数のアカウントが相次いで削除されたと明らかにした。

JFMによると、削除されたのは情報省や軍が管理・運用していたアカウント。米Amazon傘下の動画配信プラットフォーム「Twitch」は、ミャンマー国営放送(MRTV)や国営ラジオなど計14チャンネルを自社サイトおよびGoogle、Appleのアーリストアから削除した。また、国営英語放送「MITV」の公式サイトに埋め込まれていたライブ配信も停止した。

このほか、米メタ(Facebook)はMITVの公式ページを削除。アルファベット傘下のYouTubeも情報省関連のアカウントの一部を削除したほか、ファイル共有サービス「MediaFire」も軍の広報部門と関係があるとされる新聞「Yadanabon」の関連アカウントを削除したという。

一方、JFMはYouTubeがMITVの主要アカウント削除を現時点で拒否しているほか、X(旧・Twitter)やTikTokなども軍政関連のアカウントを削除していないと指摘。JFM広報のヤダナ・マウン氏は「偽装選挙を前に軍政が暴力を激化させる中、直ちに宣伝アカウントを削除すべきだ」と訴えた。

ミャンマー中銀、偽造紙幣の識別方法を公開

ミャンマー中央銀行(CBM)は12月17日、偽造紙幣の摘発が相次いでいるとして、真正紙幣と偽造紙幣を見分けるポイントを公表した。

CBMによると、SNSでの通報などをきっかけに偽造紙幣の押収事例が増加しているという。今回の発表は、市民の不安を和らげるとともに、偽造紙幣の明確な特徴を周知する目的だと説明した。

発表された偽造紙幣を見分けるポイントは以下の通り。

- ・紙質がざらついているか(偽造紙幣は滑らか)
- ・表面左側の茶色の模様に凹凸があるか
- ・45度に傾け「CBM」の文字が鮮明に見えるか
- ・額面や「ミャンマー中央銀行」の文字に触れて凹凸を感じるか
- ・紙幣を傾けてセキュリティスレッド(帯状のホログラム)が変色するか

中央銀行法第101条で偽造紙幣の使用を禁止しており、偽造と知りながら使用した場合は罰金刑と禁固刑の両方が科される可能性がある。



©Eleven Media

【12月18日】

犯罪拠点KKパークで456棟を解体、中国人3人拘束

国家安全保障平和委員会(SSPC)は12月17日、タイと国境を接するカイン州ミャワディ郡区のシュエコッコー地区で違法建築物456棟を解体したと発表した。

当局は、両地域を拠点とするオンライン詐欺や闇賭博が横行しているとして、治安部隊、行政機関、地域当局が参加する合同チームによる一斉摘発を実施。建物内部に残された通信機器や設備も、再利用を防ぐ目的で焼却処分したとしている。最新の作業では第3区域にある3階建ての違法建物1棟、2階建て違法建物11棟、計12棟を解体したという。

また、ミャワディ市内の建物で、不法滞在の中国人男性3人を拘束。当局は取り調べ終了後、関連法令と手続きに基づき強制送還する方針を示している。

【12月15日】

ミャンマー、マネロンリスクで世界ワースト1位に

スイスの非営利団体バーゼル・ガバナンス研究所が発表した「バーゼルAMLインデックス(2025)」によると、ミャンマーを世界で最もマネロンダリングおよびテロ資金供与リスクが高い国として認定した。

このインデックスは各国のリスクを18の指標に基づき分析しており、法執行や法制度の質、汚職リスク、財務透明性、政治的・法的リスクが主な評価対象となっている。ミャンマーのワースト1位は2年連続で、次いでリスクが高いとされたのは、ハイチとコンゴ民主共和国だった。

同研究所は、ミャンマーが最悪評価となつた要因として、長引く政治的不安定、金融の不透明性、汚職の蔓延、組織犯罪の拡大、信頼できる法の支配の欠如などを挙げている。一方、ミャンマー軍政は12月10日、オンライン詐欺やオンライン賭博の取締りを目的とする中央監督委員会の設置を発表した。しかし、専門家の間では「米政府や米議会からの圧力をかわすための“見せかけの対応”に過ぎない」との見方が強いという。



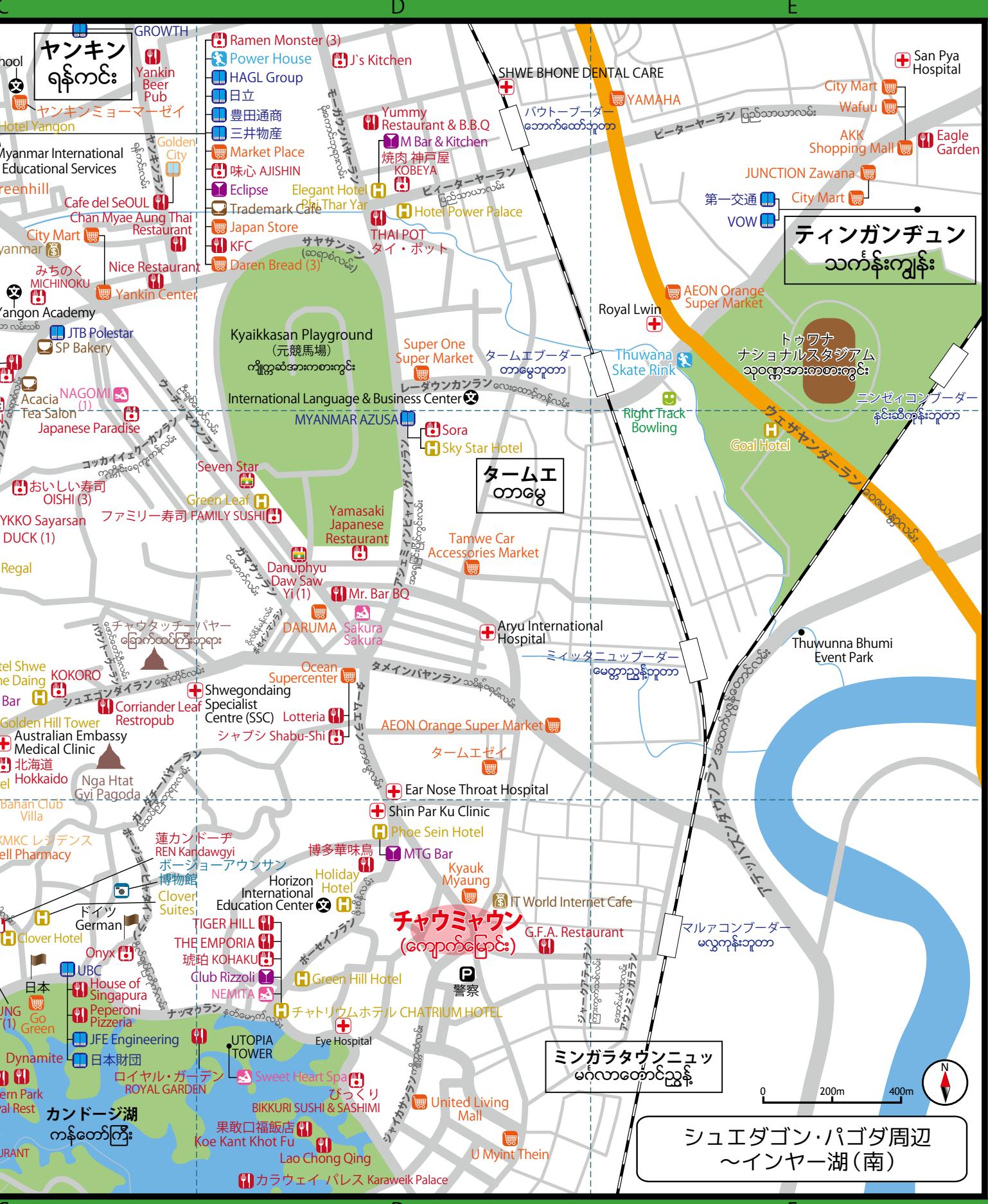
タクシーシー運転手対策の ミャンマー語表記

「ラン」とはミャンマー語で道(Road・Street)のこと。
「ブーダー」とはミャンマー語で駅(Station)のことを指す。

ヤンゴン(ラングーン)全域
Yangon (Rangoon)

©MYANMAR JAPON CO.,LTD.
MAPの無断転載を禁じます





A

B



ヤンゴンダウンタウン Downtown of Yangon

© MYANMAR JAPON CO., LTD. MAPの無断転載を禁じます



0 200m 400m

A

B



A

B

ティラワ経済特別区 (SEZ)

0 500m

地図の記号



※地図上に記載
されている社名
には、建設中・
稼働中の双方が
含まれます

**ZONE A
(405Ha)**

Mizuno Precision Parts Myanmar Co., Ltd
Han Yoma Nutrition company Limited
Myanmar Yazaki Thilawa Co., Ltd
Nissin Electric Myanmar Co., Ltd
Lightion (Myanmar) Co., Ltd

DOWA エコシステム

ガソリン補給のタンクローリー
で渋滞するため、こちらは通ら
ないのが一般的



CHEMICAL INDUSTRIES
SEIKI TOKYU MYANMAR ROAD
FUMAKILLA MYANMAR

MOOZ & COMPANY
NS Blue Scope Lysaght

YOJIN Cement

Sankyo Frontier

Agri First

FUJI FILM Myanmar

AKTIO

Buhler

Sahadharawat Can

Wisechamp

Yanmar Myanmar

NMD MYANMAR

TOA COATING (MYANMAR)

Soil Build (Thilawa)

YTL Cement Myanmar

TCCC Myanmar

CTM PAINTS

YANGON BLUMARE

Konoike Transportation

KAS

KUBOTA

RK YANGON STEEL

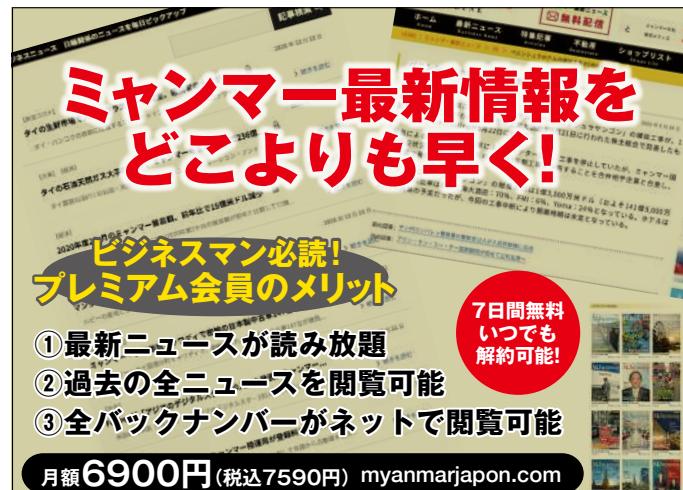
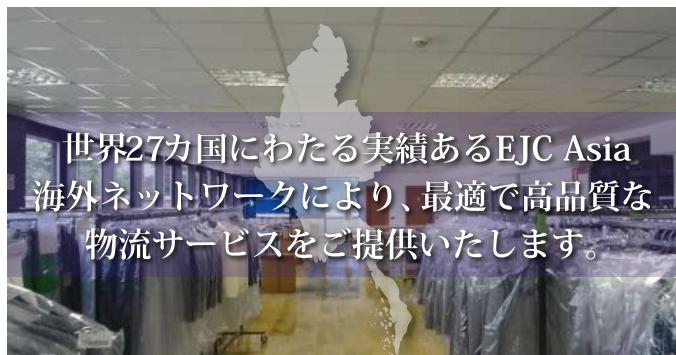
DAIZEN MYANMAR

DAIZEN MYANMAR

Standard Urai Paint

UEM (UNIMIT ENGINEERING MYANMAR)

DAIZEN MYANMAR



EJC Asia (Myanmar) Co.,Ltd.

Room 8A, No.8, Danatheikdi resident, Danatheikdi street,8 Quarter,
Mayangone Township, Yangon, 11061, Myanmar
E-mail : info@eicasia.com Phone : +95-(0)9-421124747(担当:トト)

弊社は、ミャンマーに本社を置き、日本にも支社を持つITサービス企業です。ソフトウェア開発、クラウド開発、ITサービス、アバターデザインなど、幅広いサービスをワンストップで提供しています。



ソフトウェア開発 DX SOLUTION !

ソフトウェア開発とシステム設計

お客様のリクエストに基づいてソフトウェアを開発するだけでなく、システム設計からクラウド（AWSなど）への実装、検証、保守まで、幅広いサービスを提供しています。

ノーコードソリューション

私たちには、Salesforce、Mendix、ThingsBoard、ThoughtSpotなどのノーコードプラットフォームでの開発経験を持つエンジニアが多数在籍しており、迅速にビジネス課題を解決するお手伝いが可能です。



Work For Smile! Work For Happiness!



モバイルAPI開発



私たちの開発チームは、クラウドバックエンドサービスとモバイルフロントエンドを連携させる様々なAPI統合モバイルアプリの開発に特化しており、多様なモバイルアプリの迅速なサポートを提供いたします。



デジタルBPOによる革新的なBPOサービス!

ドキュメントチェックBPOサービスでプロジェクト成功をサポート!



ICTインフラ構築プロジェクトに欠かせない作業完了報告書や完成図書の作成・内容チェックを、専門家チームがワンストップで対応! 弊社のサービスを活用することで、社内に専任チームを設ける必要がなく、必要な時に必要な分だけ柔軟にご利用いただけます。これにより、大幅な固定費削減とプロジェクトの迅速な遂行が実現。確かな品質と効率化を両立した当社のBPOサービスで、ビジネスの新たな可能性を広げませんか?

クラウド基盤の企画から保守までワンストップでサポート!



クラウドサービス導入をお考えの企業様に対し、私たちは企画設計から構築、運用、保守までトータルサポートを提供します。専門チームが最適なクラウ

ド環境を設計し、業務効率化とコスト削減を実現。さらに、運用やトラブル対応までお任せいただける安心の体制を整えています。クラウド活用の課題を解決し、スムーズなビジネス成長をサポートします。ぜひ私たちのサービスをご利用ください!

エンジニアリングCAD BPOサービスでプロジェクトを強力サポート!



IT、通信、オフィス装飾、建設など、幅広い業界に対応した高品質なCADサービスを提供します。専門チームがエンジニアリング知識と高度なCADスキルを駆使し、正確で信頼性の高い成果物をお届け。トレース業務から複雑な設計サポートまで、あらゆるニーズに対応します。効率化と高品質を両立する弊社のBPOサービスで、プロジェクト成功を目指しませんか?

アート&デザインBPOサービスで創造をカタチに!



ビジネスから個人まで、あらゆるニーズに応える高品質なアート&デザインサービスを提供。キャラクターアート、イラスト、リギング、アニメーション、ビデオ編集など、

幅広いクリエイティブ業務を専門チームがサポートします。デジタルマーケティングやエンターテインメント、コンテンツ制作業界の多様なニーズに対応し、魅力的な成果をお届け! 新たなアイデアをプロフェッショナルな品質で実現する当社のサービスをぜひご活用ください。



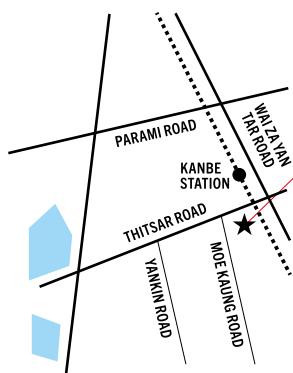
Wishton Hotel Yangon

おもてなしNo1をめざして
 これからも、当ホテルはご利用いただいたすべてのお客様に、
 こころ温まるサービスで、
 快適・安心なくつろぎの空間と時間を提供してまいります。



日本人スタッフ、日本人シェフ常駐。
 心のやすらぎを感じるホテル

- 客室91室
(ダブル、ツイン、デラックスダブル、
デラックスツイン、スイートダブル、スイートツイン)
- キッチン、電子レンジ、洗濯機、ベランダ付きのお部屋もございます
- ランドリー、ジム、オフィス、レストラン、
カフェ・バー、ミーティングルーム併設
- 長期(マンスリー)のご利用も承ります



Wishton Hotel
Yangon





WEBサイトを開く

<https://myanmarjapon.com/>